

マルハナバチによるトマトの花粉媒介



①



②



③



④

(松浦誠氏原図, 本文 17 ページ参照)

日本産ヒメハナカメムシ類の分類と同定



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

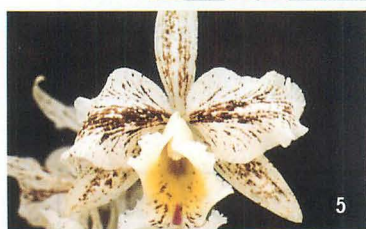
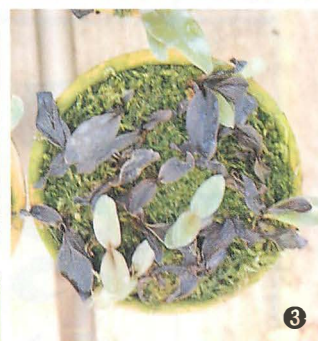


⑩

- ① ハウストマトでのマルハナバチの巣箱の設置状況
- ② トマトの花を訪れる働きバチ
- ③ ツチマルハナバチの巣の内部。中央の大型個体が女王で、円いのは幼虫や繭など
- ④ トマトのホルモン処理果(左)とハチ交配果(右)。種子及び空洞部の有無に注意。品種：端星。

- ⑤ キュウリ葉上のナミヒメハナカメムシ幼・成虫とミナキヒロアザミウマ
- ⑥ コヒメハナカメムシ雌成虫
- ⑦ ナミヒメハナカメムシ雌成虫
- ⑧ タイリクヒメハナカメムシ雄成虫
- ⑨ ツヤヒメハナカメムシ雄成虫
- ⑩ ミナミヒメハナカメムシ雄成虫

(安永智秀氏原図, 本文 24 ページ参照)



①カトレア (ambr glow) ②カトレア炭そ病 (*Colletorichum gloeosporioides*): 葉に発生し、中心が白色の輪紋をえがいた黒褐色の病斑を生ずる
③カトレア苗黒腐病 (*Pythium ultimum*): 苗に発生する。バルブ及び葉が黒褐色に腐敗し、立枯状となる ④ORSV (*Odontoglossum ringspot virus*) によるカトレアの花の斑入り ⑤CyMV (*Cymbidium mosaic virus*) の一系統によるカトレアの花のえそ斑 ⑥CyMV (前出) によるカトレアの葉の裏に生じたえそ斑 ⑦ファレノプシス褐斑細菌病 (*Pseudomonas avenae*): 葉に褐色の斑点を生じ、葉及びバルブが腐敗する ⑧ファレノプシス灰色かび病 (*Botrytis cinerea*): 花に褐色の丸い斑点を生じる ⑨ファレノプシス株枯病 (*Nectoria haematococca*): バルブが乾腐状に腐敗し、後にピンクのカビを生ずる ⑩ファレノプシス軟腐病 (*Erwinia carotovora* subsp. *carotovora*): バルブ及び葉が軟腐状に腐敗する ⑪CyMV (前出) によるファレノプシスの葉のえそ斑 (口絵解説は次号に 写真提供 ①, ⑤~⑦, ⑩, ⑫: 井上成信氏 ②~④, ⑧~⑪: 木嶋利男氏)